

兵庫県保険医協会 但馬支部ニュース

No.120

2010年12月5日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先 〒668-0373 豊岡市但東町久畑1 2 6
高橋診療所 TEL/0796-55-0036 FAX/0796-55-0008

第13回医院運営なんでも懇談会

ITを活用して効率化・経費削減

～医療のIT活用と工夫をテーマに8人参加～



電子カルテやレセプトチェックソフトなどの活用について報告された

但馬支部は11月21日、じばさん但馬で第13回医院運営なんでも懇談会を開催。田原徹先生(養父市)、下山均副支部長(香美町)から、診療所内でのIT活用をテーマに話題提供頂き、会員ら8人が参加した。

各話題提供者から、診療記録としての電子カルテや画像ファイルングシステム、レセプトの電算化や電算化に伴うレセプトチェックの電子化など、診療現場での活用やシステム導入に関わる初期費用やランニングコスト、セキュリティー対策など、分かり易く解説された。参加者の感想を紹介する。

(2面につづく)

（1面からつづく）

感想文

『ITを活用して業務効率化・患者サービス向上を』

但馬支部では11月21日（日）に、香美町の下山均先生（下山医院）のご提案で、第13回医院運営なんでも懇談会を行いました。今回は、『医療のIT化・活用と工夫』をテーマに開催しました。

まず、養父市の田原徹先生（田原医院）が、『ダイナミクスとRS_Baseを使用した院内のIT化』をテーマに多くの写真入りのスライドを使用して説明されました。診察室だけで7台のディスプレイが並んでおり、コンピューターに詳しくない私は、まるで飛行機のコックピットを見ているようでした。田原先生は以前から、専門の血液疾患の患者さん

を治療する際、お経のように何重にも折りたたんだグラフ用紙に血液データを記録されていましたが、それが電子カルテで一瞬のうちにグラフ化されるのを見て、目を見張りました。

次に下山先生が、『市販ソフトを使ったレセプトチェックの方法』を説明されました。10日毎に市販ソフトを使ってレセコン・電子カルテ上でレセプトチェックを行うことにより、病名や算定もれ、間違いがなくなり、レセプト点検のための残業も必要なくなったとのことでした。

医療現場のIT活用は、以前はコンピューターやシステムに精通した一部の先生だけが利用されていましたが、これからはITを駆使していかに業務の効率化や患者さんへのサービス、教育、指導につなげていくかが問われている、と感じた一日でした。

【日高町・谷垣正人】



話題提供頂いた
田原徹先生（養父市）

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



12月のテーマ
月曜日 タバコをやめたい人のために
火曜日 新しい歯のブラッシングの考え方
水曜日 高齢者高血圧症の治療
木曜日 家での誤った応急処置
金土日 年末年始に役立つインフルエンザの知識
(年末年始12/29～1/5) 味覚の障害

☆投稿募集☆

先生方の投稿を募集しております。日常診療・趣味など何でも結構です。お写真などもお気軽にお寄せ下さい。

協会事務局 足立まで

TEL：078(393)1805

FAX：078(393)1802

第19回日常診療経験交流会

下山均先生が話題提供



レセプトチェックソフトの活用を
テーマに話題提供

協会は10月24日に県農業会館で、「育てよう!! 地域のきずな」をメインテーマに第19回日常診療経験交流会を開催。医師、歯科医師や医院スタッフ、家族など244人が参加した。

当日は、「救急フェスタ特別企画」や「第9回あなたとわたしの展示会」、情報ネットワークコーナー、医院新聞展示、抽選会など、分科会などと併行して

多彩な企画が開催された。また、抽選会では新田誠支部長より支部で開催した市民公開講座『もっと知りたい肝臓のこと』(6/19開催・130人参加)の講演録(DVD)を協会役員と当日の参加者へ100部贈呈して頂いた。

分科会では、但馬支部の下山均副支部長が『レセ電の現場からドツポにはまらないコツ』をテーマに話題提供。定期的なレセプトチェックソフト使用によるレセプトチェックを導入強化された経緯を交え、レセプトチェック機能が大幅に強化され、かつ労力の大幅な低減につながった経験を報告された。

幹事会だより

11月21日(日)じばさん但馬で第130回幹事会を開いた(8人出席)。以下、主に議論された内容を報告する

- 秋の組織強化月間では、勤務医対策をさらに強化した。新田支部長の紹介状を得て、11月に公立豊岡病院院長の竹内秀雄先生に面談頂けた。今後、医局での説明会等、勤務医の先生方へ直接入会を呼びかける企画の具体化に向け取り組む。
- 但馬地域の医師不足が続くなか開業医が果たす役割が求められている。専門領域でも軽症の患者を一般内科医が診ることが出来れば、少なからず勤務医の先生方の負担軽減にもつながるのではないかと。今後支部では、シリーズ企画として、但馬地域の専門医の先生方を講師に「他科を知る会」を発足したい。
- 支部では、「在宅医療点数研究会」、「新規開業医懇談会」、「職員接遇講座」など、会員ニーズにマッチした企画を開催予定。

※幹事会は、会員の先生あればどなたでもご参加いただけます。お問合せは、担当事務局 足立 (TEL: 078-393-1805) まで。

第78回評議員会 但馬支部からの発言

「公立病院存続～住民と共同で～」

藤井 高雄 理事（豊岡市）

11月14日開催の第78回協会評議員会において、支部幹事で協会理事の藤井高雄先生が「但馬の医療問題と地域住民との共同の取り組み」について発言した。以下はその要旨。



藤井先生が報告

但馬地域には県立病院や赤十字病院がなく、民間の医療機関も入院設備があるところが少ない。市長と住民が様々な工夫をして公立病院を守っている。

民主党政権になっても医師不足の問題はまったく解消していないどころか進んでいる。但馬地域にある9つの公立病院組合では、どこも医師が減っている。豊岡病院でもどんどん減っている。われわれ開業医でも閉鎖するところが増えている。公立病院を守るためにも医師会や協会の会員が病院で週1回勤務に入ったり、夜間・休日診療所に入ったりしており、どうやって病院を守るか検討し奮闘している。

2年前に「医師確保・公立病院守れ」但馬住民大集会を企画し、勤務医も含め400人以上が参加した。映画「シッコ」や「いのちの山河～日本の青空Ⅱ」の上映会も実施した。今後は介護事業所と連携する企画も検討している。

『保険医の経営と税務2009年税務対策版』

（2009年10月発行 B5サイズ94ページ）

価格 1,000円（送料込）

<主な内容（章立てのみ）>

- 第1章 医業所得計算と
日常業務
- 第2章 開業・承継・閉院
- 第3章 スタッフの税務と
給与実務の留意点
- 第4章 相続税・贈与税
- 第5章 勤務医師の税務
- 第6章 地方税の計算
- 巻末資料 税務調査対応の
心得10のポイント

開業・承継・閉院、スタッフ・勤務医の税務、相続税、地方税など、医院経営に不可欠な税務対策に重点を置いて改訂された一冊。

